

第 16 回 火力専門委員会 配管減肉分科会 議事録

- I. 日 時：2016 年 11 月 11 日（金）13 時 30 分～14 時 50 分
II. 場 所：日本機械学会 第 2 会議室
III. 出席者： 尾山（東電）、堀（関電）、今村（MHPS）、増田（東京 PT）、
橋井（富士電機）、渡邊（東北電力）、園山（火原協）
欠席者： 朝倉（東芝）
オブザーバ：種子島（中部電力）、東（富士電機）、江草（関電）、志賀（東北電力）
事務局： 原

IV. 配布資料

- 16-1 配管減肉分科会前回議事録案
- 16-2 配管減肉分科会委員名簿
- 16-3 第 77 回火力専門委員会議事録(案)
- 16-4 第 79 回発電設備規格委員会議事録（案）
- 16-5 火力設備配管減肉管理技術規格改訂案の公衆審査結果
- 16-6 JESC 技術会議審議結果報告
- 16-7 JESC 審議対応
- 16-7-2 規格原稿(3方向放射線透過法)
- 16-8 誤記対応方針（案）について

V. 議題

1. 前回議事録確認 [資料 16-1]
前回議事録（案）について確認を行ない、議事録案は承認された。

2. 分科会委員・役員の承認 [資料 16-2]
貞守委員の退任が報告された。新任候補として、種子島氏（中部電力）の推薦が報告され、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。

3. 報告事項

- (1) 火力専門委員会報告（8 月 24 日開催） [資料 16-3]
第 77 回火力専門委員会の審議内容が報告された。主な内容は以下のとおり。
○分科会委員・役員の承認・・・堀氏（関電）、園山氏（火原協）が新任委員として承認された。また、今村氏の幹事就任が承認された。
○第 15 回配管減肉分科会報告
・規格委員会 No.330 における書面投票意見対応案と意見対応による規格修正案に係る火力専門委員会と規格委員会におけるメール審議実施の経緯と結果の報告。
○審議結果報告
・火力関係規格の誤記対応方針(案)の審議状況（ご意見伺い）報告

(2) 規格委員会報告 (9月7日開催)

[資料 16-4]

第78 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する事項について以下のとおり報告された。

○公衆審査結果報告

- ・火力設備配管減肉管理技術規格の公衆審査結果(7/6～8/7)が報告された。
ご意見等なし。

○火力専門委員会報告

- ・火力設備配管減肉管理技術規格改訂案のNo.330 書面投票意見対応と意見対応による修正案の承認他 1 件の審議結果報告。

○火力設備規格に関する審議はなし。

(3) 火力設備配管減肉管理技術規格の公衆審査結果

[資料 16-5]

7/6～8/7 にて実施し、ご意見が無かったことが報告された。

(4) JESC 技術会議における火力設備配管減肉管理技術規格改訂案の審議結果報告

尾山主査から、JESC 技術会議における審議状況について報告があった。

1) 説明資料の紹介

2) 審議における、ご意見・質疑の紹介

3) JESC 委員長事前説明、JESC 本委員会など、今後の予定の説明と分科会での対応事項の確認。

4) JESC のパプコメ (10/24～11/22) に関して、現時点ではご意見等が無いことの報告。

<確認事項等>

○12/7 の発電用設備規格委員会での報告を逃すことはあるのか。

- JESC の本委員会で承認されれば、規格委員会は報告だけなので遅れることはない。万が一 JESC の審議で規格を変更しなければならなくなった場合には、再修正案について、火力専門委員会の書面投票から手続きを始めるので、大幅に遅れる。

○標準・規格センターのプロセス審査はどれくらいかかるのか。

- 規格策定の各手順を時系列に並べて説明して確認していただくものなので、当日のみで終了する見込み。

○理事会は毎月あるのか。

- 夏休み期間を除くと、毎月開催される。

○1月下旬頃開催が予定されている出版センター会議において議論される出版部数等の決定にはどれくらい期間がかかるのか。

- 事前に調整するので、出版センター会議当日に決定される見込み。

4. 審議事項

(1) JESC 審議におけるコメント連絡票、パプコメ等でのご意見への対応

技術会議終了後に寄せられたコメント 1 件(3 方向放射線測定法における温度補正)に

ついて、回答案の審議を行った。

- 質問の意図は、UTのように温度の影響を受ける場合の温度補正をイメージしているようなので、放射線では温度の影響を受けないため「温度合わせ」は不要、と回答すれば良いと思われる。
- ただ、質問者の意図に不明確な部分があるので、JESC事務局に確認してから回答することとする。

(2) 火力関係規格の誤記対応方針（案）について

火力関係規格の誤記対応方針案について審議を行い、意見照会に対する回答案を取りまとめた。ご意見、コメントは以下のとおり。

①旧版の使用は推奨しないについて

- ・旧版の使用を推奨しないは、旧版を否定するイメージになり、好ましくない。仕様書で旧版の規格を指定することもよくあることである。
- ・誤記でない技術的な内容については旧版を使用しても良いので、表現に工夫が必要。
- ・もう少し軽い表現の注意喚起が良いのではないかと。（「旧版の使用は推奨しない。」の記載を削除してはどうか。）

②変更箇所一覧は、ASMEのSummary of Changeのイメージとのことだが、正誤表のようなものなのか。記載内容・書式などが、ある程度決まっていることが望ましい。

③新旧対比表を、ホームページ上でいつでも見られるようにしておくことも、ひとつの方法ではないか。

④変更一覧表ではなく、誤記一覧表を作成して規格に添付するのはいかがか。

VI. 次回開催予定

日 時： 2月10日（金）13時30分～17時00分

場 所： 日本機械学会 第3,4会議室

■分科会開催の必要性を考慮し、分科会を延期することがある。

以 上